



「おはよう 元気だったか」
朝からにぎやかな声が響く

六斎市

村上の台所として大勢の買い物客でにぎわう市民の市場「六斎市」。大正8（1919）年からはじまった六斎市が、今年で100周年を迎えました。

毎月2と7のつく日の午前中に、市役所脇から村上体育館脇の道路に約50軒のお店が立ち並びます。月に6回開かれることから六斎市と呼ばれ、近隣の農家で採れた新鮮野菜、魚介類や山菜などの旬の食材から、衣料品や日用雑貨、生花まで豊富な種類の品々が販売されます。

普段の買い物では体験できない、作り手や売り手とのふれあいや、店主と買い物客とのかけ合いが市場ならではの魅力です。

また、六斎市は村上市の観光スポットの一つでもあり、買い物場のだけでなく地域の方との交流の場としての役割も担っています。秋になると小学生が学校田で作ったお米を販売するなど、販売体験の場としても活用されています。

特集

村上の旬を伝える青空市場

るくさいいち 村上の台所「六斎市」が 今年で開設100周年

六斎市の歴史

六斎市のはじまりは、1軒の古着屋の出店がきっかけでした。

六斎市の開かれた本町（現二之町、三之町など）は元士族の地区で、商店が少ない勤め人が多いところでした。そのため、生活必需品は旧村上町で賄っていましたが、すべての需要を満たせる状態ではありませんでした。

そこで、住民の需要を満たす手段として他の町から商人を呼ぶことを考え、大正7年8月に本町役場の職員が中条町（現胎内市）の衣料品店を訪ねて出店の依頼をしました。これがきっかけとなり、翌大正8年4月に本町三之町に1軒の古着屋が出店したことが市場の始まりと言われています。

大正9年には100軒近くまで出店者が増え、月6回開く六斎市の姿となり定着しました。

出店者数は、三面ダムの建設が行われた昭和20年代から急速に増え、最盛期には500軒を超えたと言われています。

市民の生活を支える市場として、今なお多くの方に親しまれています。

開催案内

●開催日

毎月2と7のつく日
 (2日・7日・12日・17日・22日・
 27日の月6回)

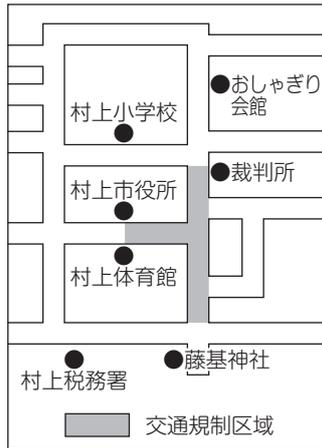
※不定期日 7月7日分を7月5
 日に、翌年の1月2日分を12月
 30日に開催します

●開催時間

午前8時ごろ～正午ごろ

●開催場所

市役所(本庁) 脇道路



出店者募集中

村上市場組合では、新たな出店者を募集しています。出店の条件や申込方法など、詳しくはお問い合わせください。
 ※ごなたでも出店できます

●出店料

間口1m 1300円
 間口2m 2000円
 間口3m 2700円

●問い合わせ・申し込み

地域経済振興課 経済振興室
 ☎ 53・2111 (内線3611)

課題と取り組み

六斎市では、高齢化と後継者不足により出店者の減少が課題となっています。

市ではこれまで六斎市に活気を取り戻すため、フリーマーケットの開催やパンフレットの製作のほか、買い物客の利便性向上のためのショッピングカートの導入、新規出店の呼び掛け、まちづくり協議会と協働で制作したのぼり旗や店名を記した木札の設置などに取り組んできました。現在も村上市場組合などの関係者と連携し、市場の活性化策を検討しています。



▲小学生のお米販売

売り手と買い手の会話が一番の魅力



マルヨシ商店
 佐藤 正勝 氏

当店は、戦後の昭和20年代前半から約70年間、六斎市に出店しています。当初は乾物屋として煮干しなどの乾物を販売していましたが、お客さまのニーズに合わせて、現在は鮮魚も販売しています。当時は、組立式の木小屋を道路に建てて出店しており、お店も道路の両側に並び、買い物客もすれ違いが大変なほど多く訪れ、大変にぎわっていました。

市場は、世間話や商品の説明、値段の掛け合いなど、売り手と買い手の会話が一番の魅力です。また、値段が安く新鮮な季節の旬の食材が並ぶことも市場の魅力だと思います。

100周年を機会により多くの市民の皆さまに六斎市のことを知ってもらい、多くの方に来ていただきたいと思っています。

六斎市100周年を迎えて



村上市場組合
 組合長
 丹羽 紀夫 氏

六斎市は、大正8年から始まり、今年4月で100周年を迎えました。市場を開設している三之町区の皆さまのご協力と、買い物に来られる市民の皆さまに支えられ、これまで100年間運営を続けることができました。村上市場組合員一同より心から感謝申し上げます。

六斎市は、市民や近郊の人々の台所として、現在も大勢の買い物客でにぎわっており、スーパーにはない地域の商品がたくさんあります。近年は、高齢化により出店者数が約50軒と少なくなりましたが、出店者は天気の悪い日も休まず出店し、各店自慢の商品を販売しております。

現在は、出店者、お客さま共に減少しているため、六斎市の魅力を発信し、市内の事業者に出店を呼びかけ、六斎市の活性化に取り組んでいかなければならないと感じています。

出店者一同、皆さまのご来店を心よりお待ちしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

六斎市開設100周年記念事業

村上市場組合では100周年を迎え、買い物に来られる皆さまへ日頃の感謝の気持ちを込めて、毎月12日に「おまけの日」を開催しています。

また、100周年を記念して作成したボールペンを次のとおり配布します。

六斎市に来たことがある人もない人も、ぜひこの機会にお越しください。



▲にぎわいを見せる市場(6月12日)



▲斎藤チウ商店の斎藤さん

いつもありがとうございます。この機会に、ぜひお越しください。

おまけの日

と き 12月までの毎月12日
内 容 各お店にて買い物をしたお客様にちょっとしたおまけを差し上げます。
 各お店でさまざまなおまけを用意しておりますので、ぜひご来店ください。

100周年記念ボールペンを配布します

事前に配布する引換券と交換になります。

と き 8月2日(金)・7日(水)の2日間
 午前8時30分～10時30分

ところ 市場区域内中央の「お休み処」
 (整体・鍼灸 樹庵 様前)

配布本数 700本
 100周年記念ボールペン (サンプル)



●問い合わせ 丹羽セトモノ店 (小国町)
 ☎52-2593

引換券の配布

次の窓口で、事前に引換券をお受け取りください。

と き 7月12日(金)・17日(水)
 午前8時30分～10時30分

ところ 市場区域内中央の丹羽セトモノ店
その他 引換券は先着順(1世帯1人1本まで)でお配りします。無くなり次第終了となります。

●問い合わせ

☎53-2111 (内線3611)
 地域経済振興課経済振興室

お客様の声

- ・自宅に近くて便利。30年近く毎回通っています。
- ・子どものころ母親と一緒に来ていました。
- ・商品が安くて、新鮮な食材がたくさんあります。
- ・お店の人と話しながら、買い物できるところがいいです。
- ・お店の人と話すと、おまけしてくれたり値段を安くしてくれたりします。
- ・旬の食材があるので季節感を感じます。



▲新鮮な食材がたくさんあります